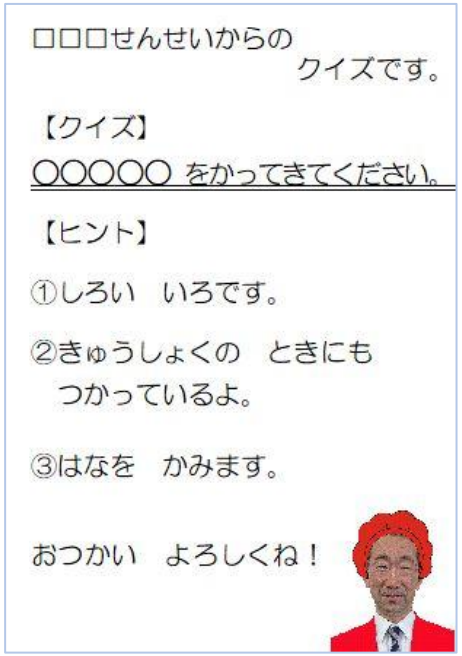
自立活動実践例紹介シート

ことばあそびタイム～スリーヒントで買い物に挑戦～

【対象児童】 小学部 5年生（重複障害）
【自立活動の項目】コ（2）（3）
【ねらい】
・スリーヒントの文字情報を手掛かりにして、おつかいで買う物が分かる。
【題材のポイント】
・スリーヒントを用いることで、ことばとイメージを結びつけ言語理解を深めることができる。
・実体験をとおして、買い物に必要な力を身に付けたり、公共のマナーを学んだりすることができる。
【児童の様子】
・買い物学習に出掛けるということで意欲的に取り組んだ。
・スリーヒントの文字情報をもとに、クイズ感覚で楽しみながらよく考える姿が見られた。
・おつかいを成功させたいという思いから、実際の買い物場面では何度もヒントを確認しながら、じっくりと考えながら活動した。
・店舗に出掛けて買い物をする中で、買い物の基本的なルールを教師と確認しながら体験できた。



渡されたスリーヒントの手紙を読んで、おつかいで買う物を真剣に考えている様子。「白い？きゅうしょく？箸かな？でも、はな？？なんだろう？？」



実際のスリーヒントの手紙



